富山の名水探訪 第１回スタート

令和８年６月27日（土）

南砺市方面　21名参加

今年度も一般参加者を募集したところ、今回は９名の参加をいただき、中部観光のマイクロバスで南砺市方面の名水探訪を実施。「境川涌水」は、相変わらず水量が多く水温 10.3 度で美味しく感じました。「脇谷の水」も水量が多く水温 9.3 度と冷たかったです。みんなで水場の藻や雑草の清掃活動を行いました。

その他　丸池の名水・桂湖ダム・中江の霊水・瓜裂清水・庄川のウッドプラザ探訪



丸池の名水



脇谷の水　清掃活動





境川涌水





昼食：五箇山の味「ふるさと」イワナ塩焼き定食

富山の名水探訪 第２回

令和８年７月25日（土）

弥陀ヶ原方面　35名参加

３５名という大人気で大型バスに乗車しました。弥陀ヶ原高原では、３グループに分かれて散策。自然解説員大野博美さん他２名のガイドさんの案内で木道脇の夏の花々に癒されながら心地よいウオーキングを楽しみました。下山後、立山駅前の「熊王の水」を試飲し、「砂防博物館」を見学しました。







輪になって、自己紹介





昼食場所　国民宿舎「立山荘」前にて

コラム

井戸水の話

理事長　青木　正樹

井戸水と地下水の違いはなんでしょう。

地下水は、雨や雪が地面にしみ込み、土や岩の隙間に溜まっている水のことです。地面の中の一定より深いところで水に満たされている層にある水をさします。川や湖などの地表にある水と区別して「地下に溜まっている淡水」の総称が、「地下水」です。

井戸水というのは「井戸という設備を通して汲みあげた地下水」です。つまり水そのものの種類でなく「取り出し方」で呼び名が変わっています。

井戸水は、地下水をそのまま汲み上げるため、地域の地質や周辺環境の影響を受けやすく水道水のような消毒処理がされていません。飲み水として使いたいのなら、水質検査で飲用水適合の承認を得てくださいね。井戸水の汚れは、生活排水が十分処理されず地面に染み込むと窒素やリン・洗剤成分などが汚染原因に。また、周囲に工場群や農場・牧場などがあると有害物質や大腸菌などの問題が出る場合が多々あります。井戸水を何に使うかで管理が変わってきますので、注意しましょう。井戸を掘る場合は周囲の環境を十分調べて、用途に合わせた管理をすることが肝要です。